

校長室から応援メッセージ（3）

令和4年7月15日（金）

「前期授業の終了にあたって」

皆さん、こんにちは。本日の授業をもって前期が終了します。校長室から応援メッセージと題して毎月一回このような機会をいただいておりますが、昨年この時期のメッセージを振り返ってみましたら、『論語』の中のこの一節を取り上げていました。「今、汝は画^{かき}れり」。孔子が自分に自信を持ってない弟子に向かって言った言葉です。

画るとは現代語では限界の限という字になります。限界付けるということです。今、お前は自分で自分の限界を決めている、どうしてその限界を越えようとしないのだ。限界を越えようとする自分こそが、本来の自分、ありのままの自分なのだよ、という意味に私は解釈します。昨年のメッセージはここで別の話題に行くのですが、

今年はここからさらに続けます。この夏休み、机に向かう皆さんが気持ちウジウジしていて、その姿から意欲が感じられなかったら、私は遠慮なく申し上げます。「今、汝は画れり」。どうやら夢の中を彷徨っているらしいな、という人には耳元でそっとささやきます。「今、汝は画れり」。言われた人は、ハッと気づいてください。

そしてつぶやいてください。「今、私は本来の自分を見失っていた。次の一步を踏み出す、それが本来の自分なのだ」。皆さん、ここが限界だと思っても、自分の世界、自分の力を限るということは、その時、その限界の向こう側にはこちら側から続いている世界が見えているのです。そうであるならば、それは限界ではない、ということです。

あるかないかわからない限界など考えず、目の前のことに集中する、そうするしかないところが人間にとっての本当の限界です。「今、汝は画れり」と言われて皆さんがハッと気づく。かなり不自然な状況設定ですが、このような状況を空想し、ワクワクしてしまった私は幸せでした。皆さんもどうかワクワクして夏休みをお過ごしください。